調査に関する事前評価済（R4）

令和６年度　公共事業事前評価調書（簡易型）

１．事業説明シート

（区分）　国補　・　県単

事業名	砂防事業［火山砂防事業（国補）］	事業箇所	北杜市長坂町小荒間	地区名	古杣川	事業主体	山梨県

（１）事業の概要

①課題・背景

本渓流は、流域面積4.06km2の土石流危険渓流であり土砂災害警戒区域に指定されている。河床には火山性の堆積物が多く堆積しており、急な渓床勾配や広大な流域面積と相まって、台風や集中豪雨時には土石流発生の危険性が高まっている。砂防施設が整備されているものの土砂整備率が低く、保全対象には人家502戸、県道北杜富士見線404m、およびJR小海線等が存在しているため、土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす可能性がある。このため、砂防施設を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。

②整備目標・効果

□主要目標　　○土石流被害の防止
- 災害実績　　有
- 土砂整備率　53%　＜　70%※
- 重要公共施設の有無　有　（JR小海線）

（保全対象＝人家502戸、小荒間公民館、JR小海線736m、県道404m）

※評価基準値

□副次目標　　－

□副次効果　　○被災時の被害波及の防止（鉄道）

（２）整備内容

①整備内容

・砂防堰堤　1基　H=8.5m L=75.5m

②着手年度　令和7年度　　**③完成見込年度**　令和16年度

④総事業費　約420百万円（国費231百万円(5.5/10)県費189百万円(4.5/10)）

⑤年度別の整備内容

		（事業費）
令和7年度	詳細測量、詳細設計、地質調査	20 百万円
令和8年度	用地測量、用地調査、用地取得・補償	20 百万円
令和9～16年度	砂防堰堤工事	380 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費

・砂防堰堤　5基

（３）事業の妥当性評価

	妥当	妥当でない
①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）	○	
砂防法第５条に基づいており、行政が行うことが妥当		
②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）	○	
砂防法第６条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当		
③経済妥当性	○	

総事業費	420 百万円	工期	R7～R16	基準年	R6
経済効率性 費用		３３３ 百万円	便益		5,674 百万円
	建設費	３３２ 百万円		一般資産被害抑止	1,550 百万円
	維持管理費	1 百万円		公共土木施設等被害抑止	227 百万円
				人身被害抑止	32 百万円
				その他※	3,865 百万円
B／C					17.0

※その他は、応急対策（家計）、人的被害（精神的損失）

費用便益比（B/C）は、国の採択基準1.0を超えている。

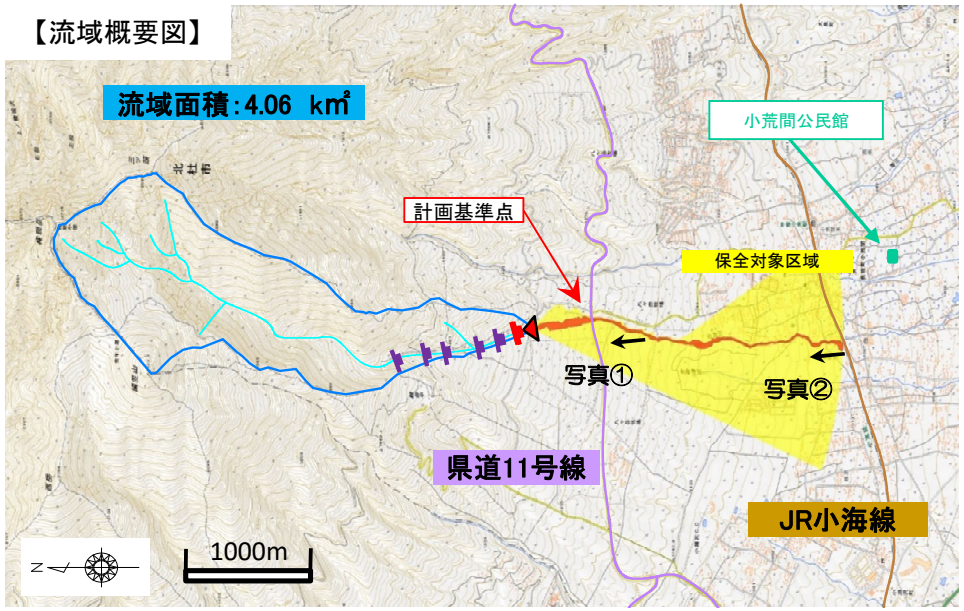
④事業実施・規模の妥当性	○	
流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である		
⑤整備手法の有効性	○	
土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的である		
⑥環境負荷等への配慮	○	
掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する		
⑦事業計画の熟度	○	
地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている		

総　合　評　価　　［貢献度ランク：a］

（４）事業位置図等

3.添付資料シート（1）

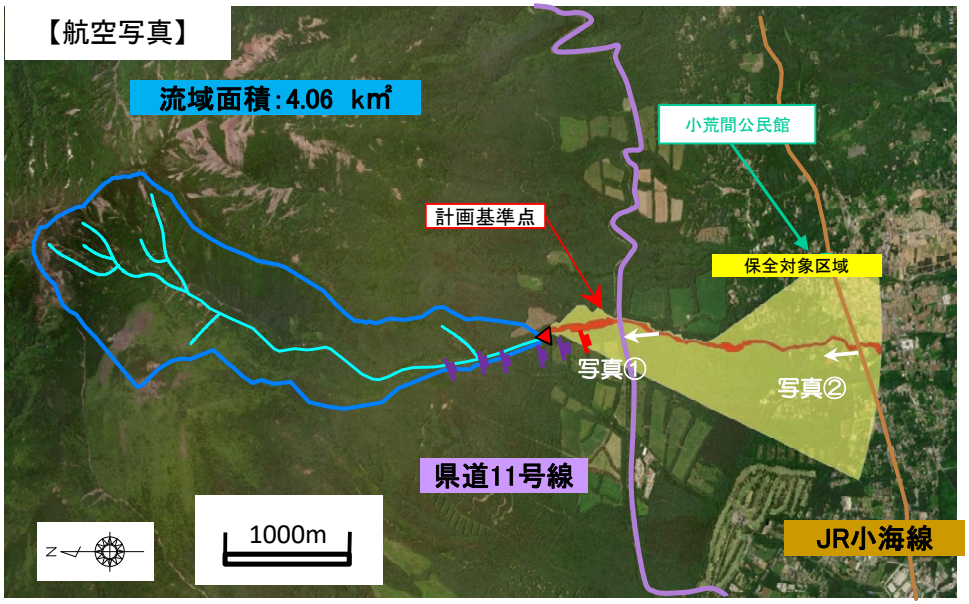
【流域概要図】



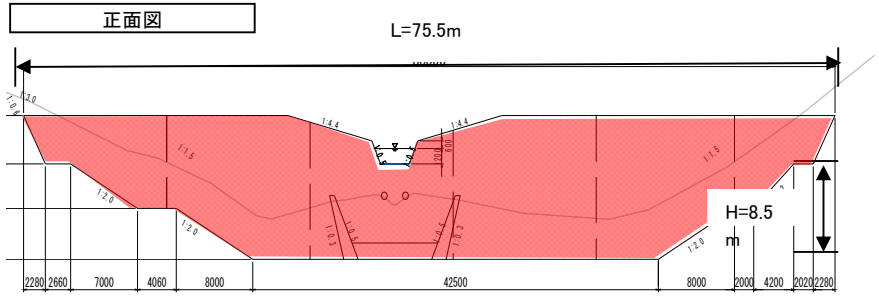
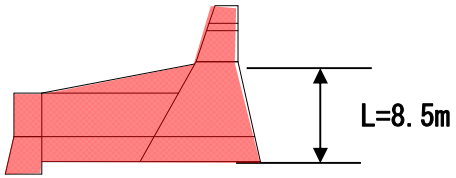
【 凡 例 】

- 計画砂防堰堤
- 既設砂防堰堤
- 流域境界
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 計画基準点

【航空写真】



正面図



側面図